

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [筑紫女学園中学校・高等学校] 担当教諭名 [松尾裕子・吉田晴信] (中学・高校生有志 14名)

交流相手国 [アゼルバイジャン]

海外学校名 [School lyceum#220] 担当教諭名 [Nahida Huseynova]

■実施教科・時間数について教えてください。

| | 教科 | 単元名 | 時間数 |
|-------------------------|------|--------------|-----|
| アートマイルに関連した 実施教科・時間数 | 特別活動 | アートマイルプロジェクト | 30 |
| | | | |
| | | | |

■作品について教えてください。

| | |
|------------|-------------------------------|
| 題 (テーマ) | 平和 |
| 絵に込めたメッセージ | 世界が少しでも平和な状態に向かっていきますようにという願い |



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果 | 課 題 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自国の文化や地域の特徴について再発見の契機となった。 ・表現の仕方、相手への伝え方や伝わり方を意識して工夫できるようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムでの交流は相手校も含めて、教師主導であるという感は否めない。 |

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

| 児童生徒の意識の変化 | 教師の意識の変化 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・相手国に対するイメージが調べ学習や相手校からの発表によってより正確なものとなった。意外性を実感し、先入観はよりよい理解の妨げにつながりかねないという意識を持てるようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・焦らずに時間をゆったりと使っていてもいいのであると思えるようになった。効率性とスピードの追求を重視することを少し見直すようになった。 |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面 | 時期 | 活動内容 | 児童生徒の反応 | 実施教科等 |
|---------|-----|--|---|-------|
| 自己紹介 | 9月 | 画用紙に自己紹介の内容を書いて生徒がそれを持った写真をフォーラムに載せた。 | 各自で思い思いの装飾を施し、楽しんでいた。 | 特別活動 |
| テーマ学習 | 10月 | 地元についての地理的な内容を中心に4つのテーマに分けて模造紙に書いて、その写真をフォーラムに載せた。 | 地元を紹介するのにどんなものや事象が効果的であるか思考を重ねていた。 | 特別活動 |
| 構図決定 | 11月 | 絵が特に得意な生徒たちが個人で描いてきた構図を持ち寄って、最も評価の高かった生徒のアイデアを土台とし、全体図を皆で作っていった。 | 平和というテーマとともに、日本の美しさを伝えたいと思っていた。 | 特別活動 |
| 壁画制作 | 12月 | 昼休みや放課後の時間を使って製作に当たった。 | 絵画班のリーダーが中心となって協力体制がしっかりとできていて、淡々と各自の仕事に取り組んでいた。 | 特別活動 |
| 鑑賞・振り返り | 4月 | 絵を鑑賞し、感想などを言い合った。 | 完成した喜びや協働のすばらしさについて語っていた。また、相手校の作風に優しさや気遣いに感じ入るといったコメントも多く出た。 | 特別活動 |

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

| 学習目標・つけたい力 | 目標 | 成果 | 成果についてそう感じた場面・理由 |
|--------------------------|----|----|---|
| 自文化の理解 | A | 4 | 地域の情報を伝えるために熱心に調べ学習をしていた。 |
| 異文化の理解 | B | 3 | 歴史の内容など、馴染みのないことを読み取ることに苦労していた。 |
| コミュニケーション力 (説明・共感・英語) | A | 4 | 英語を使って伝えることに果敢に挑戦していた。 |
| 情報活用能力 (情報収集・発信) | B | 4 | インターネットに頼る場面が多かった。 |
| 人間関係をつくる (学級内・交流相手) | B | 4 | 交流相手とは生徒同士の交流が充分ではなかった。校内では友人の輪が広がった。 |
| 協働する力 (役割分担・協力) | A | 5 | 生徒たちはお互いを励ましながらか、最後まで責任をもってプロジェクトを遂行した。 |
| 学習を追究する意欲 | C | 3 | 生徒たちはこのプロジェクト以外にも様々な行事をこなしていかなければならず、深みのある学習には向かいづらかった。 |
| 表現力 (伝えたいことを絵で表す) | B | 5 | みんなでアイデアを出し合い、コンセンサスを得た形で構図が決定したことが良かった。 |
| 作品を鑑賞する力 | A | 5 | 相手校の生徒に感謝の念を抱いていたのが印象的であった。 |